

現在の住環境の音問題

在宅勤務により以前よりも増して
生活空間の音環境に注目が集まっている



職場勤務と同等以上のパフォーマンス
が発揮できる音環境が求められている



生活空間の音環境を改善して**知的生産性**の向上を目指す



本研究の目的

音環境の変化により
呼吸変動を促すことで
作業効率の向上を目指す



集中力が向上するような
快適な音環境を創生



研究内容

エアコン動作音の印象把握

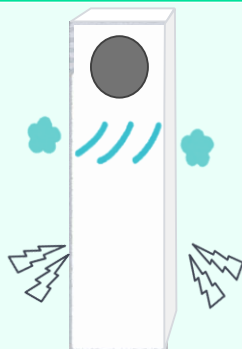
音質改善による知的生産性
向上効果の影響把握

主観評価:

- SD法
- 一対比較法

客観評価:

- 心電情報
- 唾液アミラーゼ



音源による作業への影響把握

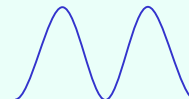
音源の変動による
知的生産性への影響把握



呼吸変動による知的生産性向上
効果を**音源の変動**により誘起



Fluctuation sound



Respiratory rate

複合条件による集中力への影響

空調などの動作音と
音環境の変動による
相乗効果を目指す

周波数特性



音源の変動



相乗効果による生産性向上